

おほはらのさくらみまひと
大原桜井真人、佐保川の辺に行きし時に作る
歌一首

四四七八番

佐保川に 凍り渡れる 薄ら氷の 薄き心を 我
が思はなくに

藤原夫人の歌一首

四四七九番

朝夕に 音のみし泣けば 焼き大刀の 利心も我
は 思ひかねつも